

CRISISデータ利用申請書

申請日： 2022 年 6 月 6 日
所属施設： 済生会宇都宮病院 栃木県救命救急センター
所属施設所在地： 栃木県宇都宮市竹林町911-1
施設長名： 小倉崇以
申請者： 萩原祥弘、小倉崇以

本研究内容に関するお問い合わせは ecmo_research@ecmonet.jp まで

利用目的（研究目的の場合は研究概要についても記載）
臨床研究および疫学調査

利用申請するデータ項目・年度（詳細は不要）
2020年2月から2022年6月までの全ECMO症例を対象として、CRISISデータベースにデフォルト設定にて登録されている全項目（公開データ）について、調査する

研究概要

テーマ

COVID-19 Pandemic下におけるECMO診療の実態：重症COVID-19全国疫学調査

目的

COVID-19 Pandemicにおいて、ECMO症例がどの病院でどれくらいの数が実施されたのかを調査し、ECMO診療の全体像を把握することを目的とする

仮説

Pandemic下においてはECMO症例の集約化は進まず、むしろ、多数の機関にて少ない数のECMOが実施されたのではないか？と仮説する

研究の方法

【研究期間】：2022年6月から2024年3月

【研究対象】：2020年2月から2022年6月にCRISISデータベースに登録された全ECMO症例

【調査内容】：年齢、性別、転帰、ECMO稼働日数、その他のCRISISデータベースにデフォルト設定にて登録されている全項目（公開データ）

全ECMO症例を地図上でMappingし、COVID-19 ECMO症例が分散されたのか？集約されたのか？について、その視覚化を図るとともに、転帰についても調査し、患者の分散と集約の双方の効果について検討する。また、各都道府県における人口10万人あたりの養成者数と比較することにより、医療提供体制的なストレスの強度と“分散と集約の方針転換”の関係性について考察する。

